

報道関係各位

2014年3月吉日

プレスセミナーのご案内

～近年増加傾向にある女性性感染症「性器ヘルペス」～
見逃し症例が問題視されていた「性器ヘルペス」
新しい迅速診断法により適切な治療の提供が可能に
～非専門医の鑑別診断の補助にも貢献～

- 日時：2014年4月18日(金)16:00～17:30 (15:30 受付開始)
- 会場：三菱ビル コンファレンススクエア エムプラス 1階「サクセス」

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

性器ヘルペス感染症は、「単純ヘルペスウイルス」に感染して発症する性感染症で、性器やその周辺に水泡や潰瘍ができ、痛みの他、発熱やだるさなどの全身症状を伴います。一度感染すると、完治することはなく、神経節にウイルスが潜伏して、体力低下やストレス、月経などをきっかけに活発化し、何度も再発を繰り返し肉体的にも精神的にも苦痛を伴います。出産時に新生児に感染すると新生児死亡をきたすこともある疾患です。性器ヘルペス感染症は、年間約8万人が治療を受けていると推定され、女性においては性器クラミジア感染症に次いで多い性感染症です。近年、発生動向は2009年頃から増加傾向^{※1}に転じています。

同疾患の視診のみにもとづいた臨床診断は問題があるとされています。また、これまでの検査法は、検出感度の低さや検査結果が出るのに時間を要することなどから、臨床現場ではあまり実施されず、問診と臨床症状の観察のみで診断されることが多い疾患でした。性器ヘルペスは、疾患の特異性から、皮膚科、泌尿器科、婦人科、内科など多科にわたり受診される疾患でもあり、初感染では特に女性で重症化しやすく、見逃し症例が問題視されてきました。従って臨床現場において効率よく簡便に実施できる検査法の登場が待ち望まれていました。

こうした背景のもとに開発されたのが国内初の性器ヘルペス感染症の迅速診断キット『プライムチェック[®]HSV』です。10～15分の短時間で検査結果が得られ、特殊な器具等も不要のため簡便に使用できます。非専門医でも簡便に使用できることから、今後広く普及することにより適切な治療の提供に貢献していくものと期待されています。

そこで、本セミナーでは、愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学 主任教授 三嶋 廣繁先生、早川クリニック 副院長 早川 潤先生をお迎えし、性器ヘルペス感染症を含む性感染症の発生動向と問題点、また、本キットの特徴、有効性について解説いただきます。

ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

※1:厚生労働省「感染症発生動向調査」(2013年4月)

お手数ですが、添付のFAX返信用紙にて、4月16日(水)までにご出欠のお返事をいただけますよう、
お願い申し上げます。

プレスセミナー開催概要

■ 日時：2014年4月18日（金）16：00～17：30（受付開始：15：30～）

- ・ 16:00～16:10 「性器ヘルペス感染症の迅速診断キット『プライムチェック[®]HSV』
～医療現場への導入状況と今後の展望」
アルフレッサ ファーマ株式会社 医薬診断薬本部長 中島 博之
- ・ 16:10～16:40 「性感染症におけるパラダイム・シフト」
愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学 主任教授 三嶋 廣繁先生
- ・ 16:40～17:10 「性器ヘルペスの臨床と診断～新しい迅速診断法の有効性」
医療法人聖和会 早川クリニック 副院長 早川 潤先生
- ・ 17:10～17:30 質疑応答

■ 会場：三菱ビル コンファレンススクエア エムプラス 1階「サクセス」

東京都千代田区丸の内 2-5-2 三菱ビル TEL:03-3282-7777（代表）



<JR> 「東京駅」丸の内南口 徒歩 約2分、京葉線「東京駅」10番出口より直結

<地下鉄> 千代田線「二重橋前駅」4番出口 徒歩 約2分、丸の内線「東京駅」地下道経由 徒歩 約3分
都営三田線「大手町駅」D1出口 徒歩 約4分、東西線「大手町駅」B1出口 徒歩 約6分

— 本件に関するお問い合わせ先 —

プレスセミナー事務局 株式会社トークス 佐野、高久、養祖 ようそ
TEL: 03-3261-7715 E-mail: medical@pr-tocs.co.jp